

一般名(略名)	バンコマイシン(VCM)	ダプトマイシン(DAP)	リネゾリド(LZD)
価格(2021/6時点) ※後発品がある場合は後発品の価格で表示	注射：893.00円/g(後発品) 内服：1819.2円/g(後発品)	注射：13776.00円/350mg(1瓶)	注射：7414円/600mg(1袋) 内服：5296.30円/600mg(1錠)
抗菌活性	殺菌性	殺菌性	静菌性
第一選択となる疾患	MRSA感染症 PRSP感染症	呼吸器感染症 皮膚南部組織感染症	成人の菌血症 感染性心内膜炎 皮膚・軟部組織感染症
副作用	redman症候群 腎障害 耳毒性	CPK上昇 好酸球性肺炎 末梢神経障害 肝障害	セロトニン症候群(SSRI禁忌) 末梢神経障害 骨髄抑制(2週間以上の使用の場合)
PK-PD	AUC/MIC	Cmax/MIC AUC/MIC	AUC/MIC
組織移行性	良好	良好 ※肺は不可	非常に良好 特に肺・骨・髄液など
TDMの必要性	必要(専用ソフトあり)	不要	不要
注意すべき相互作用	アミノグリコシド系抗菌薬 (腎毒性、聴覚障害の発現)	スタチン系 (CPKの上昇)	SSRIを含むセロトニン作動薬 (セロトニン症候群の発現)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> βラクタム系抗菌薬より抗菌作用は弱い 腸球菌には静菌的に作用 MICが2μg/mL以上は治療域の到達が難しい 経口VCMは偽膜性大腸炎に使用する 分子量が1485.71と大きいいため腸管から吸収しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 肺のサーファクタントによって失活 カルシウム依存性でカルシウムがあるところに効果を発揮する 1日1回投与 バイオフィルムへの高い浸透性 分子量が1620.67と大きいいため内服なし 	<ul style="list-style-type: none"> バイオアベイラビリティ100% 経口薬が可能な場合はできるだけ錠剤の方がいい(価格的に) 院内肺炎に効果 VREにも使用されるため適正使用が重要